

## 2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月12日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東  
 コード番号 2305 URL http://www.studio-alice.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 俊介  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画担当 (氏名) 中井 俊宏 TEL 06-6343-2600  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	27,364	△9.8	3,838	19.5	4,040	24.9	2,056	15.8
2020年2月期第3四半期	30,351	△2.7	3,211	△19.2	3,234	△19.2	1,775	△22.0

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 2,152百万円 (19.5%) 2020年2月期第3四半期 1,801百万円 (△22.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	121.06	—
2020年2月期第3四半期	104.52	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	45,977	26,052	54.1
2020年2月期	34,591	24,749	68.2

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 24,865百万円 2020年2月期 23,605百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	△10.7	2,100	△35.3	2,200	△33.9	600	△50.4	35.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	17,185,650株	2020年2月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	201,636株	2020年2月期	201,485株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	16,984,104株	2020年2月期3Q	16,984,165株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・なお、連結子会社である株式会社豊匠は、2020年10月1日付で株式会社京都豊匠に商号変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、多くの企業活動や消費動向に影響を与え、経済活動の停滞により消費活動が急速に悪化し厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後、経済活動は徐々に再開し一部では持ち直しの動きも見られますが、一部地域では再拡大に見舞われているなど、予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、お客様と従業員の安全を第一に、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しつつ、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行なってきました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,364百万円（前年同期比9.8%の減少）、営業利益は3,838百万円（前年同期比19.5%の増加）、経常利益は4,040百万円（前年同期比24.9%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,056百万円（前年同期比15.8%の増加）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### (写真事業)

写真事業は、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施した上で営業し、当第2四半期連結累計期間に引き続き、臨時休業中にお越しいただけなかったお客様の各種撮影を行なうとともに、最需要期を迎えた七五三撮影および七五三お出かけ着物レンタルに注力いたしました。また、2020年1月に開始した『ふりホ』施策による成人式撮影件数の更なる獲得にも努めました。

国内写真館の出店状況は、移転5店舗、退店9店舗を行ない、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を37店舗実施いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、国内子ども写真館484店舗（直営店舗475店・フランチャイズ店舗9店）、韓国の子会社における子ども写真館2店舗を含め、486店舗となっております。

以上の結果、報告セグメントにおける写真事業の売上高は27,325百万円（前年同期比9.4%の減少）となり、セグメント利益は3,878百万円（前年同期比16.3%の増加）となりました。

#### (衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、連結子会社の株式会社京都豊匠、および、その子会社である上海豊匠服飾有限公司において、引き続き当社向け衣装の更なる生産効率の向上によるコスト低減を図るとともに、当社が2020年1月にスタートした『ふりホ』施策に関わる衣装・小物の調達等に注力いたしました。

以上の結果、報告セグメントにおける衣装製造卸売事業の売上高は1,719百万円（前年同期比35.6%の増加）となり、セグメント利益は128百万円（前年同期比217.5%の増加）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ11,386百万円増加し45,977百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加、流動資産「その他」に含まれる預け金の増加等により、前連結会計年度末と比べ11,222百万円増加の26,431百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産「その他（純額）」に含まれるリース資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ163百万円増加の19,546百万円となりました。

#### ② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ10,083百万円増加し19,924百万円となりました。

流動負債は、新型コロナウイルス感染拡大による影響により、企業活動の混乱や停滞等が継続するような不測の事態に備えて、手元資金を厚くすることを目的に行った短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ9,568百万円増加の15,496百万円となりました。

固定負債は、退職金規程の改訂による退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ514百万円増加の4,428百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,303百万円増加し26,052百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想につきましては、2020年10月12日に公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」における2021年2月期の数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,072,650	19,332,831
受取手形及び売掛金	838,574	1,836,899
たな卸資産	1,803,783	2,422,154
その他	1,523,508	2,858,928
貸倒引当金	△30,000	△19,352
流動資産合計	15,208,516	26,431,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,302,333	7,932,365
その他(純額)	4,377,273	4,763,834
有形固定資産合計	12,679,606	12,696,199
無形固定資産	991,874	950,181
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,316,671	3,294,868
その他	2,616,532	2,829,944
貸倒引当金	△222,000	△225,149
投資その他の資産合計	5,711,204	5,899,663
固定資産合計	19,382,685	19,546,043
資産合計	34,591,201	45,977,504
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	240,225	485,859
短期借入金	—	6,850,000
未払法人税等	581,165	891,884
賞与引当金	182,332	53,224
ポイント引当金	92,500	102,430
その他	4,831,377	7,113,109
流動負債合計	5,927,600	15,496,507
固定負債		
退職給付に係る負債	1,102,910	1,251,820
資産除去債務	1,651,339	1,653,565
その他	1,159,502	1,522,682
固定負債合計	3,913,753	4,428,068
負債合計	9,841,353	19,924,576

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	19,866,198	21,073,048
自己株式	△276,159	△276,416
株主資本合計	23,531,438	24,738,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,407	47,826
為替換算調整勘定	73,058	79,160
その他の包括利益累計額合計	74,465	126,986
非支配株主持分	1,143,944	1,187,910
純資産合計	24,749,848	26,052,928
負債純資産合計	34,591,201	45,977,504

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	30,351,609	27,364,009
売上原価	21,686,883	19,096,788
売上総利益	8,664,726	8,267,221
販売費及び一般管理費	5,453,586	4,428,775
営業利益	3,211,139	3,838,445
営業外収益		
受取利息	1,655	1,728
受取配当金	-	9,129
受取家賃	16,805	16,683
受取補償金	37,870	1,736
為替差益	1,421	983
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	-	199,755
雑収入	28,357	50,734
営業外収益合計	86,109	280,750
営業外費用		
支払利息	12,692	23,388
店舗解約損	44,251	54,645
雑損失	6,022	795
営業外費用合計	62,966	78,830
経常利益	3,234,282	4,040,366
特別利益		
固定資産売却益	229	2,301
特別利益合計	229	2,301
特別損失		
固定資産廃棄損	189,946	142,090
減損損失	171,600	165,779
新型コロナウイルス感染症による損失	-	496,685
特別損失合計	361,547	804,555
税金等調整前四半期純利益	2,872,965	3,238,112
法人税、住民税及び事業税	1,083,436	1,310,619
法人税等調整額	△53,059	△172,531
法人税等合計	1,030,377	1,138,088
四半期純利益	1,842,587	2,100,024
非支配株主に帰属する四半期純利益	67,415	43,966
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,775,172	2,056,057



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	1,842,587	2,100,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,598	46,418
為替換算調整勘定	△28,323	6,102
その他の包括利益合計	△40,921	52,521
四半期包括利益	1,801,666	2,152,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,734,250	2,108,578
非支配株主に係る四半期包括利益	67,415	43,966

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(追加情報)

2020年4月7日に新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が政府から発表され、4月16日には緊急事態宣言が全国に拡大されたことにより、全国の当社店舗は臨時休業となりました。5月14日の緊急事態宣言解除以降、安全対策を万全にした上で順次営業を再開しており、ご予約数も昨年並みに回復いたしました。

今後は、業績が例年通りの水準で推移すると仮定し、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定と異なる可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,139,527	212,082	30,351,609	—	30,351,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,130	1,055,679	1,081,810	△1,081,810	—
計	30,165,657	1,267,762	31,433,420	△1,081,810	30,351,609
セグメント利益	3,334,153	40,609	3,374,763	△163,623	3,211,139

(注) 1. セグメント利益の調整額△163,623千円には、固定資産の調整額等11,323千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△174,946千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては146,705千円であります。

「衣装製造卸売事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては24,895千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2020年3月1日 至2020年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,307,929	56,080	27,364,009	—	27,364,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,052	1,662,981	1,681,034	△1,681,034	—
計	27,325,982	1,719,061	29,045,044	△1,681,034	27,364,009
セグメント利益	3,878,137	128,931	4,007,068	△168,623	3,838,445

(注) 1. セグメント利益の調整額△168,623千円には、固定資産の調整額等△9,340千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△159,282千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては165,779千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
当該事項はありません。